

口腔育成系診療科 予防歯科

外来 外来診療棟C 4F 連絡先 022-717-8330(外来)



科長
小関 健由 教授

主な対象疾患

- 周術期の口腔機能管理・支持療法
- 特に支援が必要な方に対する地域歯科医療と連携した口腔健康支援
- 口臭

診療内容

口腔疾患の予防や口腔に関わる全身疾患の予防を行い、全身の健康増進を図ることで、個々の患者さんがその方らしい生活を送ることができるように支援を継続することが予防歯科の特色です。特定機能病院である当院の予防歯科は、強固な医科歯科連携や地域連携のもとに、特に集中管理が必要な医科疾患患者さんの周術期口腔管理や、全身状態において特別な配慮が必要な患者さんの口腔管理を実施しています。

当院における周術期口腔管理は、予防歯科周術期口腔支援外来の設置にはじまり、2015年4月には周術期口腔支援センターが設置され、現在の形となりました。周術期口腔支援センターは、病院医科部門との医科歯科連携における歯科部門の窓口として機能しており、予防歯科では周術期口腔支援センターと連携して患者さんを受け入れています。予防歯科では特に、抗がん剤等を使用した化学療法、頭頸部腫瘍への放射線療法、頭頸部腫瘍手術、造血幹細胞移植などに於ける口腔管理を中心とした診療を行っています。

さらに、全身疾患により全身的な配慮が必要な患者さんについては、専門的な口腔管理が必要になります。全身疾患による高リスク患者に対する口腔管理を地域の歯科医院や医療機関と連携して推進しています。

また、予防歯科口臭外来は30余年の歴史があり、口臭測定機器に基づいた診断のもと、地域医療機関からの紹介患者さんの診療を行っています。

診療体制

新患は毎日午前中の受付であり、口臭外来は毎週月曜日と木曜日の午前



車椅子に点滴装置を付けた患者さんの診療等、様々な患者さんの状態に対応しています。

中に予約枠を設けています。再来予約診療は、各担当医による予約制となります。

予防歯科には様々な全身状態の患者さんが来院されます。それぞれの全身状態に応じた安全性の高い診療体制を整えるため、予防歯科診療室の全歯科診療ユニットには酸素と吸引用のポートが設置され、全身管理用モニタ、酸素吸入装置、吸引用機器が常時使用可能な状態です。また、車椅子上で診療するための簡易安頭台、点滴等のライン保持のためのスタンド、体勢保持用クッション、ビデオエンドスコープ(VE)、様々な口腔機能計測機器等、医科との連携診療に必要な機器も設置しています。

得意分野

● 周術期口腔管理

様々な医科手術、化学療法、放射線療法、造血幹細胞移植など、多岐にわたる医科処置症例における周術期口腔管理を行なっています。手術では術前のマウスピース装着や口腔経由誤嚥性肺炎炎症抑制のための術前術後の口腔衛生管理を、化学療法では口腔粘膜炎重篤化の予防や口腔粘膜炎重篤時の口腔管理を、頭頸部領域放射線療法では照射中の口腔粘膜炎管理など、医科歯科の各科と連携しながら専門的な口腔健康管理を実施しています。

● 口臭外来

口臭検査室にガスクロマトグラフ、当科開発の口臭測定器プレストロン等の口臭測定用専門機器を備えており、口臭測定値、官能検査、詳細な問診票等に基づいた診断を実施しています。口臭でお悩みの方には、口臭物質を実際に数値で計測できますので、口臭外来へ問い合わせ下さい。



周術期の口腔ケアに関するオリジナルの冊子を患者さん用に作成しセルフケアを支援しています。

ご紹介いただく際の留意事項

■ 現在、予防歯科での新患受入は、基本的に当院で医科処置を伴う入院・外来患者さんを中心としていますので、従来の定期的口腔健康管理に関しては、かかりつけ歯科医での受診を勧奨しています。また、周術期の患者さんは、医科処置を開始する前に待機期間がある場合や医科処置が終了して退院後の口腔管理が必要な場合が有りますので、必要な口腔内処置はかかりつけ歯科医での実施をお願いいたします。その際には、予防歯科はかかりつけ歯科医での診療支援・相談を行いますので、必要に応じてご連絡ください。また、口腔管理についてのお問い合わせ・ご相談も受け付けますので、ご連絡下さい。